※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科基礎演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業は毎時間、授業担当者が作成したプリントを配布します。覚えることはたくさんあると思いますが、テスト前だけでなく、授業終わりに作成したプリントを見直すこと、また普段行う小テストの間違えた個所をしっかりと理解できるように頑張ってほしいと思います。

2　学習の到達目標

・物理、化学、生物、地学の各分野の一般常識となる基礎的な知識を幅広く復習し、就職試験等に対応できる知識・技能を身につける。
・記述問題において自分の考えを発表し、思考力・判断力・表現力を身につける。
・グループワークを行い、グループ内での協力性や主体的に学習に取り組む態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・身近な事物・現象を通して、現代の生活や科学技術の関係についての知識を身につけたか。	・自然の事物や現象に問題を自ら見出し、発展的に実験や観察を行うとともに、論理的に考察しようとしているか。 ・物理、化学、生物、地学分野と社会の関わりについて科学的、総合的に判断し、その結果を表現できるか。	・自然の事物や現象に関心を持ち、科学の発展について意欲的に探究しようとしているか。 ・分かりやすいプリントを作り上げようとしているか。 ・他人の意見をよく聞いて、より深い理解につなげようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（４月～５月）	生物分野	・顕微鏡の装置のつくりと正しい操作手順について理解させる。 ・植物の花のつくり、根・茎のつくりとはたらき、葉のつくり、光合成と呼吸のしくみについて理解させる。 ・種子植物の特徴と分類、シダ植物とコケ植物の特徴について理解させる。 ・細胞や臓器のつくりとはたらきについて理解させ、自分の生命活動について気付かせる。	a・生物分野の基本的な知識を理解する。 b・植物、動物のつくりや各部位のはたらきについて、日常的な現象に照らし合わせて表現することができる。 ・自然界の疑問について考察を行い、自らの言葉で表現することができる。 c・生物分野の内容に興味をもち、日常生活とどのように関わり合って発展してきたか，意欲的に学習しようとする。	授業観察 定期考査	授業観察 プリント提出 感想課題 定期考査	授業観察 プリント提出 感想課題
前期（６月～９月）	化学分野	・身の回りの天然の物質や人工の物質がどのような成り立ちでできているか確認させる。 ・原子の構造，化学結合について理解させ，それらが物質の性質と関係していることに気付かせる。 ・金属がどのような場面で使用されているか，使用例を考えて学習させる。 ・金属の利用や腐食の防止について，金属の性質に関連して考えさせる。 ・物質の濃度の関係について、計算する能力を身につけさせる。	a・それぞれの材料の性質を把握し，安全で快適な生活のための利用法を理解している。 ・濃度の計算についての解法を理解している。 b・身近にある金属の種類，性質に関する観察・実験（加熱・溶解など）の結果を的確にまとめ，構造や成分の違いに関して考察することができる。 ・金属などの性質と利用方法を関連させて説明することができる。 c・私たちの生活に役立っている金属について，どのような性質が製品として利用されているかを学び，さらによりよい生活のために改良すべき点はないか意欲的に学習しようとする。	授業観察 定期考査	授業観察 プリント提出 感想課題 定期考査	授業観察 プリント提出 感想課題

※令和４年度以降入学生用

後期（１０月～１１月）	物理分野	・電流計・電圧系の正しい接続方法について理解させる。 ・直列回路と並列回路の回路による電流・電圧の関係を理解させる ・様々な力について理解する。	a・電流・電圧の関係について理解している。またその知識を計算に利用できる。 B・様々な力に関する観察・実験を通して、身近に存在する力について考察することができる。 c・身近に存在する力や、電気のはたらきについてどのように利用されているか関心を持ち，意欲的に学習しようとする。	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題
後期（１２月～２月）	地学分野	・日本列島の気候的な特徴を概観し，私たちの生活との関わりを理解する。 ・気象現象によって様々な恵みがもたらせれていることに気づかせるとともに，気象災害を学習し，地域で過去に起きた災害などを調査させる。 ・地震や火山分布がプレートの境界面で起きていることを理解させる。 ・日本列島の地質的な特徴をプレートテクトニクス等で理解させる。 ・地震のメカニズムを学習し，地域において将来おこる可能性のある地震のタイプや規模などを確認させる。 ・人類の歴史はエネルギー確保の歴史であることを知り，そのための技術を発展させてきたことを知るとともに，問題点も抱えていることを理解させる。	a・身近な地域の自然景観をつくりだした諸作用について，地殻変動などの大地の起伏を大きくする作用と風化，土石流，流水などの大地を平たんにする作用が関わっていることを理解している。 ・エネルギーが変換することと，保存することを理解している。また，その性質を利用して科学技術が発展したことを理解している。 b・地震や火山のハザードマップなどを調査し，災害リスクを的確に表現できる ・人間生活の中に，エネルギーに関する科学技術を見出すことができ，エネルギーが有効に利用されているかを総合的に判断して表現することができる。 c・身近な自然景観や自然災害に関心を持ち，意欲的に調べようとする。 ・エネルギーに関する科学技術に関心を持ち，科学的な見方・考え方を身につけようとする。	授業観察 定期考査	授業観察 プリント提出 定期考査	授業観察 プリント提出 感想課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度